

災害時のそなえ

「ジー。ドカン！ドカン！」

「地震だ！にがる！」

外に出た私達はあ然としていました。道路にはヒビが入り電線はぶらぶらゆれ、けい察署にはたくさんの人。時々くる、予震。その日は、大きいもので、震度も弱もの地震が三回もきました。いっ自分の家がくずれてもおかしくはなく、仕方なく車の中でパンを食べ出来ていた夕食を食べました。一週間たつても、予震はつづきます。食べれる物はまともかい中電灯も電地を入れておきました。いっまた大きい予震がくるか分からないからです。ぬるときは、近くに笛を置いてぬました。建物の下じきーになつても、笛を鳴らし見つけてくれるようにするためです。夜、時々予震が来ましたが、家はくずれませんでした。約半年後日本は四つのプレートの上であり、地震大国といふことは知っていました。そのせい

こしよりか？次は宮ぎ具などで地震がおき始め、建物がくずれたり、ガラスがわれたり、大くのけが人が出ました。私は、その二コーズを見て、対さくとはやはり必要なんが！いつきてもいいように荷物をまとめておこう！と思ひ、荷物をまとめておきました。それから数カ月後。夜に震度3の地震がおきました。幸い家はくずりませんでしたが、荷物の準備をしておいてよかったですと思ひました。